

解 答 速 報

東海大学 一般選抜 (1日目) 数学

I

$$\text{ア} : \frac{16}{3} \quad \text{イ} : -\frac{3}{10} \quad \text{ウ} : 5 \quad \text{エ} : \sqrt{2} \quad \text{オ} : 1$$

$$\text{カ} : 8 \quad \text{キ} : \frac{3\sqrt{5}}{2} \quad \text{ク} : 1 \quad \text{ケ} : \frac{3}{7}$$

II

$$\text{ア} : 11 \quad \text{イ} : 42 \quad \text{ウ} : -\frac{\sqrt{21}}{14} \quad \text{エ} : 1 \quad \text{オ} : 12 \quad \text{カ} : \frac{7}{31} \quad \text{キ} : \frac{1}{4}$$

III

$$\text{ア} : -7n + 41 \quad \text{イ} : -\frac{7}{2}n^2 + \frac{75}{2}n \quad \text{ウ} : 81$$

$$\text{エ} : 11 \quad \text{オ} : 5 \quad \text{カ} : 31 \quad \text{キ} : 1$$

～講評～

1 小問集合

- (1) 定積分の計算 (易) (2) 極限 (基本) (3) 不定方程式 (基本)
(4) 三角関数 (基本) (5) 確率 (基本) (6) 座標空間 (標準) (7) ベクトルの内積 (標準)

(1)～(5)は必ず解きたい。(7)は $\vec{a}+3\vec{b}=\vec{x}, \vec{a}-4\vec{b}=\vec{y}$ と置き換える典型問題であるが、初動を間違えると難しい。

2 データの分析

分散・相関係数によって定義される2次関数についての問題。内容自体は難しくなく、定義に忠実な計算を求める問題であるが、ボリュームはやや多めである。

3 数列

等差数列と漸化式についての問題で、後半は整数の桁数を調べる常用対数の応用。内容は基本的で、問題のボリュームも標準的である。

1の小問集合は昨年と同程度、3の数列が昨年よりやり易いものとなっている。2のデータの分析は知識が整理できていない生徒もよく見られるので得点差がついたと思われる。全体で7割は確保したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校 TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校 TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>